

観点1	基礎・基本の定着
観点2	主体的に取り組む工夫
観点3	内容の構成・配列・分量
観点4	内容の表現・表記
観点5	言語活動の充実

第1推薦	27 教育芸術社
第2推薦	17 教育出版

小学校 音楽 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる観点	主たる特徴
17 教出	観点1	<p>題材の目標が目次に示され、各教材の学習目標がそれぞれのページの上部に大きく示してある。「音楽を形づくっている要素」は色が変わっており、分かりやすい。既習事項のページや関連の資料等のリンク先をかえるのマークで示し、振り返りや関連した学習ができるようになっている。楽譜の説明を第3学年でおこなっている。『音楽のもと』まとめとして全学年で巻末にその学年での学習事項が記されている。</p> <p>「こんにちはリコーダー」「めざせリコーダー名人」として、リコーダー学習を3・4年で、題材とは別に取り出して4ステップで指導するようにしている。</p>
	観点2	<p>巻頭に、身の回りのものから音楽に繋がる活動を含む題材や現在活躍中の音楽家からのメッセージを掲載しており、児童が興味をもって取組めるよう工夫している。</p> <p>音楽づくりの題材は多くないが、一つの題材の中の情報量が多い。</p>
	観点3	<p>掲載されている曲数が多い。(児童の実態に合わせて選ぶことができる)</p> <p>各学年の学習指導要領に示されていない内容を、第4学年から「はってん」として示している。</p>
	観点4	<p>全学年を通して共通のマークが多用されており、学習に合わせて活用できる。(音楽のもと：葉、活動のポイント：てんとう虫など)</p>
	観点5	<p>記入できるワークシートが3年から6年にある。旋律の特徴や感じ取ったことを実際に記入できる形式である。書いた後に「書いたものをもとに、この曲のおもしろいところなどを友達に伝えよう」など話し合いの視点が示されている。</p>
27 教芸	観点1	<p>題材の目標が目次とともに題材のトップページの左側に大きく示されている。各教材の学習目標もそれぞれのページの上部に大きく示してあり、指導者や児童が見通しをもって学習に取り組めるようになっている。全学年巻末に「ふりかえりのページ」や資料がある。その学年での学習内容が整理されおり、基礎・基本を分かりやすく振り返ることができる。</p> <p>「リコーダーとなかよしになろう」の題材で学習した後は、リコーダー指導と他の題材の目標を関連させて3・4年で5ステップでの指導ができるようにしている。</p>
	観点2	<p>音楽づくりの題材が多く設定されている。「言葉から音づくりに進む」「音や小節の数の増加」など前学年とのつながりや系統性のある指導ができるようにしている。</p>
	観点3	<p>低・中・高学年と2学年ずつ系統的な題材構成となっており、前学年の学びが次の学年の学びにつながるようになっている。</p> <p>各学年の学習指導要領に示されていない内容や、より知識を広げる活動を、第3学年から巻末資料にマークとともに「ステップアップ」として示している。</p>

観点4	活動の手助けとなるヒントを、キャラクター（全学年共通くまのダン）に発言させている。
観点5	記入できるワークシートが3・4年にある。曲の感じと曲の感じを生み出している特徴が実際に記入できるようになっている。聴く時のポイントを示している。曲想の変化の図があり、鑑賞時に曲想の変化が捉えやすく鑑賞の視点としやすい。